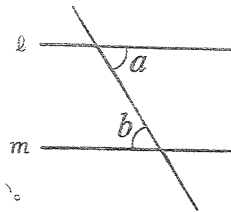


1 次の問いに答えなさい。

- (1)  $(-32a^2b) \div 4ab$  を計算しなさい。
- (2) 連立方程式  $\begin{cases} 4x + y = 1 \\ 2x - 3y = 4 \end{cases}$  を解きなさい。
- (3) 1次関数  $y = \frac{2}{3}x + 1$  の変化の割合をいいなさい。
- (4) 1次関数  $y = ax + b$  について、 $x$ の変域が  $-4 \leq x \leq 6$  のとき、 $y$ の変域は  $0 \leq y \leq 5$  でした。このとき、 $a$ 、 $b$ の値を求めなさい。ただし、 $a < 0$  とします。
- (5) 正六角形の1つの内角の大きさを求めなさい。

2 次のことがらの逆を答えなさい。また、それが正しいなら○、正しくないなら×で答えなさい。

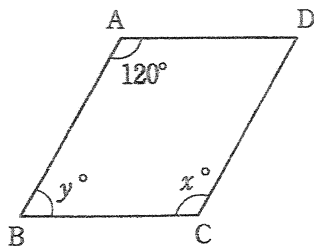
- (1) 2直線  $l$ ,  $m$  が平行ならば、錯角  $\angle a$  と  $\angle b$  は等しい。



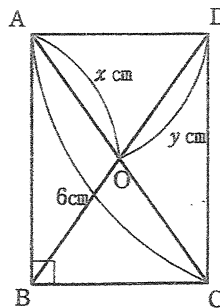
- (2)  $\triangle ABC \cong \triangle DEF$  ならば、 $\triangle ABC$  と  $\triangle DEF$  の面積は等しい。

3 次の図で、 $x$ ,  $y$ の値をそれぞれ求めなさい。

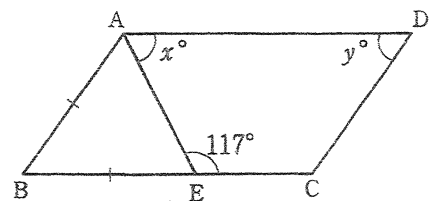
- (1)  $AB \parallel DC$ ,  $AD \parallel BC$



- (2) 長方形 ABCD



- (3)  $\square ABCD$ ,  $AB = BE$

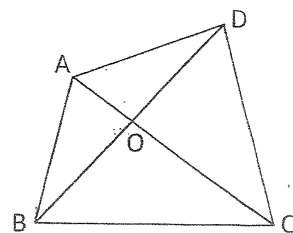


4 四角形 ABCD に①～④の条件をそれぞれ加えるとそれぞれどんな四角形になるか、下の語群から選び、答えなさい。ただし、一度選んだものは使えません。

- ①  $AB \parallel DC$  と  $AD \parallel BC$
- ②  $AB \parallel DC$  と  $AD \parallel BC$  と  $AB = AD$
- ③  $AB \parallel DC$  と  $AD \parallel BC$  と  $\angle C = \angle D$
- ④  $AO = OC = BO = OD$  と  $AC \perp BD$

【語群】

正方形 平行四辺形 ひし形 長方形



5 次のア～ケにことばや記号をいれて証明を完成させなさい。

【問題】  $\square ABCD$  で、頂点 A、C から対角線 BD にそれぞれ垂線 AP、CQ をひく。

四角形 APCQ が平行四辺形であることを証明しなさい。

【証明】

$\triangle ABP$  と  $\triangle CDQ$  において

仮定から  $\angle APB = \angle CQD = 90^\circ \dots \textcircled{1}$

四角形 ABCD は平行四辺形で、

( ア ) ので

$AB = CD \dots \textcircled{2}$

( イ ) だから

$AB \parallel DC \dots \textcircled{3}$

③より ( ウ ) は等しいから  $\angle ABP = \angle CDQ \dots \textcircled{4}$

①②④から

直角三角形の ( エ ) ので、

$\triangle ABP \cong \triangle CDQ$

よって、合同な図形において、対応する辺はそれぞれ等しいから、

( オ ) = ( カ )  $\dots \textcircled{5}$

また、一直線上の角は  $180^\circ$  なので、

$\angle APQ = 180^\circ - \angle APB \dots \textcircled{6}$

$\angle CQP = 180^\circ - \angle CQD \dots \textcircled{7}$

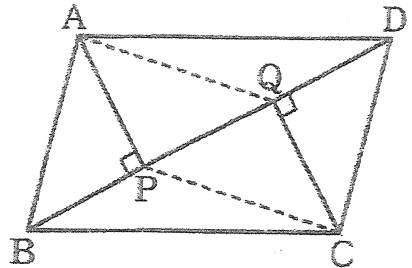
①⑥⑦より  $\angle APQ = \angle CQP = 90^\circ \dots \textcircled{8}$

⑧より ( キ ) が等しいから

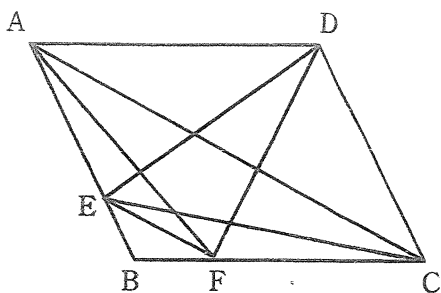
( ク )  $\parallel$  ( ケ )  $\dots \textcircled{9}$

⑤⑨から ( コ ) ので

四角形 APCQ は平行四辺形である。



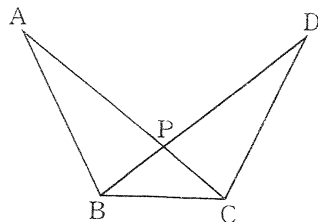
- 6 下の図で、四角形 ABCD は、平行四辺形である。AC // EF となるように、辺 AB, BC 上にそれぞれ点 E, F をとるとき、 $\triangle ACE$  と面積の等しい三角形をすべて答えなさい。



- 7 右の図で、 $AB=DC$ ,  $AC=DB$  とする。AC と DB の交点を P とするとき、 $\triangle PBC$  は二等辺三角形であることを証明しようと思います。

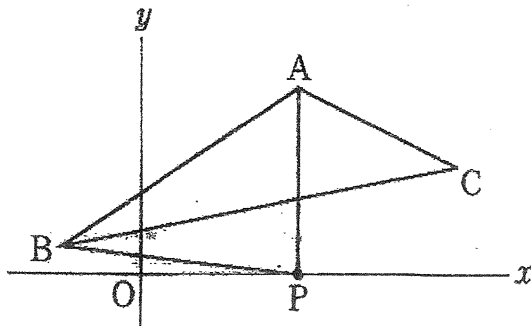
次の問いに答えなさい。

- (1) 結論を導くためには、どの三角形とどの三角形の合同をいえばよいですか。
- (2)  $\triangle PBC$  は二等辺三角形であることを証明しなさい。



- 8 下の図のような  $\triangle ABC$  があり、それぞれの座標は  $A(6, 7)$   $B(-3, 1)$   $C(12, 4)$  である。また、点 P は  $x$  軸上の  $x > 0$  の範囲を動く点である。次の問いに答えなさい。

- (1) 直線 AB の傾きを求めなさい。
- (2)  $\triangle ABC$  と  $\triangle ABP$  の面積が等しくなるときの点 P の座標を求めなさい。



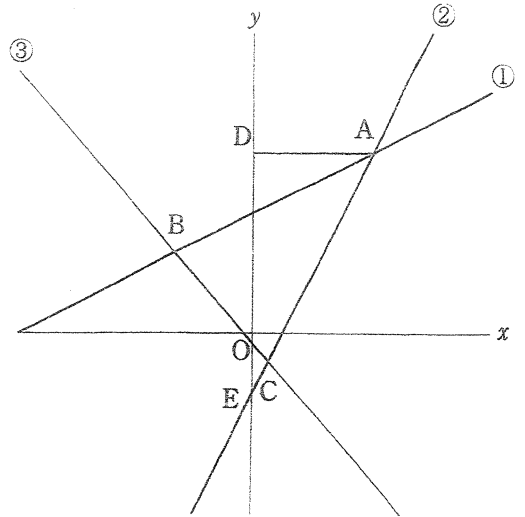
9 右の図で、直線①は関数  $y = \frac{1}{2}x + 6$  のグラフ、

直線②は関数  $y = ax + b$  のグラフであり、直線③は

関数  $y = -\frac{9}{8}x - \frac{1}{2}$  のグラフである。

点 A は直線①と直線②の交点であり、その  $x$  座標は 6 である。点 B は直線①と直線③の交点であり、その  $y$  座標は 4 である。点 C は直線②と直線③の交点である。点 D は  $y$  軸上の点であり、線分 AD は  $x$  軸に平行である。点 E は直線②と  $y$  軸との交点であり、 $OD : OE = 3 : 1$  である。

このとき、次の問いに答えなさい。



(1) 直線②の式を求めなさい。

(2)  $\triangle ADE$  を  $y$  軸を軸に 1 回転させてできる立体の体積を求めなさい。

(3)  $\triangle ABC$  の面積を求めなさい。